

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果（宝塚市が所管するもの）

※次の各表における耐震診断の結果は、震度 6 強から 7 に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの建築物も、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度 5 強程度の中規模の地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

※「耐震改修等の予定」欄には、「大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」（末尾の附表の区分Ⅲ）と評価される場合には、耐震改修等の必要がないことから「－」を、それ以外の場合であっても、耐震改修等の予定がある場合はその内容を記載している。

■劇場、観覧場、映画館又は演芸場

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の 地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	宝塚パウホール	宝塚市栄町 1 丁目 295 他	劇場	-	-	-	-	
	パウホール棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 3 次診断法」（2001 年版）	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{10} \cdot S_0=0.65$	-	-	
	倉庫・会議室棟（旧カフェテラス棟）			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」（2017 年版）	$I_s/I_{so}=0.16$ $C_{10} \cdot S_0=0.13$	耐震改修	令和 7 年度～ 令和 9 年度 工事予定	
	大広間棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（2011 年版）	$I_s=0.61$ $q=1.35$	-	-	
				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」（2001 年版）	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{10} \cdot S_0=0.68$	-	-	
	パラダイス棟			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和 56 年 6 月 1 日以降におけるある時点の建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）並びにこれに基づく命令及び条例の規定（構造耐力に係る部分（構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。）に限る。）に適合するものであることを確認する方法。	確認できる	-	-	
	クリスタルボックス棟			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和 56 年 6 月 1 日以降におけるある時点の建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）並びにこれに基づく命令及び条例の規定（構造耐力に係る部分（構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。）に限る。）に適合するものであることを確認する方法。	確認できる	-	-	
	昇降機棟			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和 56 年 6 月 1 日以降におけるある時点の建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）並びにこれに基づく命令及び条例の規定（構造耐力に係る部分（構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。）に限る。）に適合するものであることを確認する方法。	確認できる	-	-	

■百貨店、マーケットその他物品販売業を営む店舗

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の 地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	イズミヤ小林店	宝塚市小林 5 丁目 242 番他	百貨店、マーケット その他	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.30$	—	—	

■幼稚園、小学校又は幼保連携型認定こども園

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の 地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	宝塚市立良元小学校 校舎棟	宝塚市小林 5 丁目 194	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.46$	—	—	
2	宝塚市立小浜小学校 校舎棟	宝塚市小浜 4 丁目 132 番地他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996 年版)	$I_s=0.72$ $q=2.86$	—	—	
				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{10} \cdot S_0=0.78$	—	—	
3	宝塚市立宝塚小学校 校舎棟	宝塚市川面 1 丁目 99	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.76$	—	—	
4	宝塚市立長尾小学校 校舎棟	宝塚市山本東 1 丁目 235、238、239、240、241、242、243、244	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{10} \cdot S_0=0.76$	—	—	
5	宝塚市立西谷小学校及び中学校校舎棟	宝塚市大原野字石保 34 番地の 1・46 番地	小学校、中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.40$	—	—	
6	宝塚市立西山小学校 校舎棟	宝塚市野上 6 丁目 1-16	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{10} \cdot S_0=0.55$	—	—	
7	宝塚市立売布小学校 校舎棟	宝塚市売布ガ丘 16-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.36$	—	—	
8	宝塚市立長尾南小学校 校舎棟	宝塚市山本南 2 丁目 48-4	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.54$	—	—	
9	宝塚市立末成小学校 校舎棟	宝塚市末成町 62 番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.36$	—	—	
10	宝塚市立安倉小学校 校舎棟	宝塚市安倉中 6 丁目 1324-6	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.46$	—	—	
11	宝塚市立中山台小学校(旧宝塚市立中山桜台小学校) 校舎棟	宝塚市中山桜台 4 丁目 12 番の 2、25 番地、24 番の 3 の一部	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.31$	—	—	
12	宝塚市立長尾台小学校 校舎棟	宝塚市長尾台 1 丁目 2-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{10} \cdot S_0=0.39$	—	—	
13	宝塚市立逆瀬台小学校 校舎棟	宝塚市逆瀬台 6 丁目 3-124	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.35$	—	—	

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の 地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
14	宝塚市立美座小学校 校舎棟	宝塚市美座 2 丁目 1-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.45$	—	—	
15	宝塚市立光明小学校 校舎棟	宝塚市光明町 265-1 外	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.46$	—	—	
16	宝塚市立末広小学校 校舎棟	宝塚市末広町 62 番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.49$	—	—	
17	旧宝塚市立中山五月台小学校校舎棟	宝塚市中山五月台 7 丁目 4 番の 1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.36$	—	—	
18	宝塚市立高司小学校 校舎棟	宝塚市高司 4 丁目 80-2	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{10} \cdot S_0=0.38$	—	—	
19	宝塚市立宝塚中学校 校舎棟	宝塚市美座 1 丁目 11	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{10} \cdot S_0=0.36$	—	—	
20	宝塚市立長尾中学校 校舎棟	宝塚市長尾町 7 番 1 号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.34$	—	—	
21	宝塚市立宝梅中学校 校舎棟	宝塚市宝梅 3 丁目 81 番地の 1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.51$	—	—	
22	宝塚市立高司中学校 校舎棟	宝塚市高司 1 丁目 247 外・2 丁目 273 外地内	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.74$	—	—	
23	宝塚市立南ひばりガ丘中学校校舎棟	宝塚市南ひばりガ丘 2 丁目 4 番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_0=0.49$	—	—	
24	宝塚市立安倉中学校 校舎棟	宝塚市安倉中 6 丁目 1324-9 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{10} \cdot S_0=0.55$	—	—	
25	宝塚市立中山五月台中学校 校舎棟	宝塚市中山五月台 4 丁目 9-152	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.39$	—	—	
26	雲雀丘学園小学校	宝塚市雲雀丘 4 丁目 2 番 1 号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{10} \cdot S_0=0.39$	—	—	
27	小林聖心女子学院 本館校舎	宝塚市塔の町 61 番外	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物」の耐震診断基準に定める「第 1 次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so}=1.07$	—	—	
				建築物の構造耐力上主要な部分が昭和 56 年 6 月 1 日以降におけるある時点の建築基準法(昭和 25 年法律第 201 号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	

■老人ホーム、老人短期入所施設、保育所、福祉ホームその他これらに類するもの

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	宝塚市立わかさ保育所	宝塚市高司 1 丁目 167、171-2、172-2、 277、197-2、279、173- 2、281-3、282	保育所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」（2001 年版）	$I_s/I_{so}=1.71$ $C_{IV} \cdot S_0=1.06$	—	—	

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996 年版、2011 年版）	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 1 次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	—	—	$1.0 \leq I_s/I_{so}$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」及び「第 3 次診断法」（2001 年版）（2017 年版）	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{IV} \cdot S_0 < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{IV} \cdot S_0$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」及び「第 3 次診断法」（2009 年版） 鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{IV} \cdot S_0 < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{IV} \cdot S_0$
建築物の構造耐力上主要な部分が昭和 56 年 6 月 1 日以降におけるある時点の建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）並びにこれに基づく命令及び条例の規定（構造耐力に係る部分（構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。）に限る。）に適合するものであることを確認する方法。	—	—	確認できる

- I. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
 II. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
 III. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※震度 6 強から 7 に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度 5 強程度の中規模の地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

※表に掲げる補正係数 Z、Rt、G、U については、備考欄に記載のある場合を除き 1.0 である。